二中の木

学校報
第１３号
H28/12/22

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

二中生の「足跡」

～平成二十八年度・後期前半までを振り返る～

四月・入学式

90名の新入生を迎えて！ ともに歩むなかま

四月七日（木）、第70回入学式が行われました。立派な姿勢で臨んだ新入生に、さすがは二中の新しい仲間だと、頼もしさを覚えました。代表挨拶の佐藤夏鈴さんのきびきびした動作としっかりした内容のお話もよかったです。

二・一中定期戦

勝利に歓喜！ 四対0完封勝利

五月一日（日）は、開校記念日であると同時に二・一中定期戦の日でもあります。試合前はあいにくの空模様でしたが、徐々に好転。結果も完封勝利と素晴らしいものになりました。応援の一体感、応援歌「フレー選手」の復活、長門幸輝さんの始球式などの思い出が、全校生徒の胸に刻まれました。

六月・全県予選

輝く夏！ 届けこの応援

六月十八、十九日（土、日）に行われた夏季総体。前日の金曜日には、村岡体育文化後援会長、40名近い保護者も参加して激励会が行われました。

激励の甲斐あって、卓球男女、剣道男女の優勝や野球の準優勝、陸上五種目の優勝など、団体や個人の活躍がありました。その後、体操女子の東北四連覇、ソフトボール女子合同チーム全国三位といった素晴らしい成果へと活躍は続いていきます。多くの保護者、地域の方々、チームメイトが応援してくれましたね。

夏休み明け・二中祭

行事も成長の場！ 故郷で輝く二中生

第70回二中祭「MEMORY～二度とないこの時に最高の笑顔を～」が、九月四日（日）に開催されました。母親委員会の昼食等の準備や販売、親父屋台村の設置や運営等で保護者の方々の多くの協力を得ながら開催されました。生徒に、存分に活躍させたいの思いがひしひしと感じられるPTA活動となりました。本当にありがとうございました。

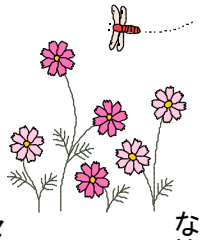
前日祭では、エグザイルのような見事なダンス、歌等を披露してくれる数グループが会場を盛り上げてくれていました。いよいよ二中祭が始まるんだなという雰囲気に包まれた前日祭となりました。

クラスアート、学級新聞等々の審査もしましたが、生徒の皆さんがこれまで本当に頑張ってきたのを見ていたので、私の結果で全てが決まるわけではないのですが、順位を付けるのはとてもつらかったです。

当日、天候に恵まれ多くの方々が二中祭を参観に、そして応援に来てくださいました。本校学校評議員の田村重由さんもそのお一人でした。私にとっては、かつての二中の保護者で、郊外生活部長さんもやってくださいました。いつも二中生の校外での様子に関心を持っていただき、お声をかけてもらっています。

こうした地域の方に生徒の皆さんの頑張りを紹介できることはとてもうれしいことです。〔裏へ〕

なかなか紹介する機会に恵まれないので、ここで書かせてもらいます。もう一人の学校評議員 菊谷明さんも普段から二中生への応援を続けてくれている方です。二中若での献身的な協力、降雪時の通学路の除雪、学校帰りの見守りや声掛けなど、感謝しきれません。



こうした地域の方々の志の高さと、二中生の行事は、自分たちの楽しみのためにやるのではない。地域の皆さんの元気のためにやる。」という志の高さが、二中を含む地域全体の元気につながっていくはずです。

二中祭は、合唱をはじめとする多くのコンクール部門でクラスで協力することの喜びを、展示を含む発表部門では表現することの楽しさ、仲間の発信をしっかり受け止めることの大切さを気付かせてくれました。そして、『二中祭の歌』で盛り上がりの余韻に包まれたのでした。

九月・二中若

魅せろ！ 二中魂の確かさ

九月十日（土）が、二中若の運行日。前日には、おなごりフェスティバル実行委員の、同窓生でもある原田真吾さんも駆け付けて「入魂式」が行われました。式では、三つの確信 校歌、校訓、伝統」について、その二中魂とも言うべき確信が、自分の中で揺るぎないものであることを確認し発揮してもらいたいと話しました。他人と地域の幸せを願って動くと決めた以上、その言葉に誠実に二中若を運行してもらいたいとも話しました。

運行まで延べ一六二名の保護者、地域応援隊の方々にかかわっていただきました。やりきった満足感が漂う「流し」による体育館でのフィナーレでした。今年も多くの尊い志に支えられてやり遂げることができました。

前日の横殴りの雨の中、明日の生徒の活躍を願って、保護者や地域応援隊の方々と灯籠を向能代から能代駅前まで押したり引いたりしながら移動させました。志の高さに感謝すると同時に、願いと感動を共有できたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

十二月・冬休みへ

冬にも鍛える！ 自主・不屈・友愛

いよいよ冬休みが、12月23日（金）から始まります。1月15日（日）までの期間です。夏休みと違い期間が短いので、しっかり計画を意識しないと、あっと言う間に終わってしまいそうです。

冬に鍛える！ ～二中 三つの合い言葉～

○自主　学習には攻めの姿勢
※守りでは気力は生まれない

○不屈　自分を見つめる正しい目
※行動には慎重さを欠かさない

○友愛　全力投球の潔さ
※限界の壁を押しやる努力

三年生にとっては、正に正念場の冬休み。前号に登場した「冬の覚悟」が試されますね。昨年、三年部主任だった長浜笑子先生の一言が思い出されます。「入試は個人戦ではありません。団体戦です。」とおっしゃっていました。希望する進路はそれぞれ違っても、それを実現しようとする意思や目標は共通のもの。今こそ友達甲斐を発揮し、前進を喜び合い、弱気をたしなめ合ってゴールに向かっていきましょう。全校の先生方が応援しています。

友愛の精神とは？

①友達の苦しさやつらさを進んでわかろうとする。②苦しさやつらさを見て見ぬふりをしない。③先生や大人に解決の手伝いや助言をもらう。④友達の不幸せと幸せを自分のこととして考え、幸せを育て不幸せを取り除く手助けをする。

後期前半までの自分を振り返り、二中生としての「友愛」に曇りはないか、胸を張れるかについて、①～④で何ができて何ができなかったのかを点検し、後半に備え一層充実した二中魂へと磨き上げましょう。

赤き実に揺れ残すなり 鷦鷯

秋多

鷦鷯とは、夏は渓流周辺に棲む小さな鳥です。ミソサザイと読みます。鷹に追われたのでしょう。校舎の窓ガラスにぶつかり気絶状態でしたが、校務員の吉村さんが逃がしてくれ、元気に飛び去っていきました。さて、年の瀬が迫っています。皆様の来年が、良き年となりますようお祈りします。【終】